

# 募集！薪ストーブのある家

——地球環境保全のために薪ストーブで暖まろう——

## 趣 旨

日本は森林資源が豊富で、とくに<sup>さとやま</sup>里山林や人工林からは適切な森林管理により木材が産出されます。しかし、小径木等の木材が林地に放置されればせっかくの資源が利用されず、腐朽等により木材中に固定された炭素が放出されることとなります。

いま、自然エネルギー利用のひとつとして木材（木質バイオマス）の利用が見直されています。これは、未利用木材を熱エネルギー源として、化石燃料に代替して利用することにより、地球温暖化ガスである二酸化炭素の排出量を相対的に減じられる可能性があることに着目されているためです。

一方、住宅の視点からは、多様化する消費者ニーズの中で、地球環境を大切にしたい住まいや日本の伝統・文化を受け継ぎ、心暖まる人づくりの場となる住まいなどに着目する住まい手のニーズの高まりもみられています。

そこで、地球環境の保全をテーマにした「薪ストーブのある家」の作り手や住まい手の実践例や夢を募集するとともに、その提案の紹介を通じて、木質バイオマスの利用の促進と多様な住生活の実現を目指したいと考えています。



主催：社団法人 全国木材組合連合会  
後援：林野庁(予定)、国土交通省(予定)